

| 科目名 | 薬学概論 | | | | |
|---------------|--|---|-----------------------------------|----------|----------|
| 担当教員 | 谿 忠人、田中 慶一 | | | | |
| 配当 | 薬科1 | | | コード | 12720 |
| 開期 | 前期 | 講時 | 月曜日2限 | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 【必修】医療の担い手としてのこころ構え、薬学入門、早期体験学習 | | | | |
| 目的と概要 | <p>薬学概論では医療の担い手としての心構えや薬学教育の概要を講義します。</p> <p>1. 本学の理念「報恩感謝、自立、創造、共生」と薬学部の教育目標を概説します。薬学部の目標は「生命科学・医療科学的専門知識と技能および実践力を備え、高い倫理観を有する人間性豊かな薬剤師を養成し、国民の健康・福祉の向上に寄与する」ことです。</p> <p>2. 6年制薬学教育の概要と到達目標を講義します。具体的には、薬学教育モデル・コアカリキュラム(コアカリ)のAヒューマニズムについて学ぶ、Bイントロダクション(薬学入門、早期体験学習)の概要を知り、薬学の学び方、薬剤師に必要な資質(科学性と人間性)と薬剤師の業務内容の概要を修得することです。</p> <p>3. 早期体験学習では薬局、病院と企業の現場を体験し薬剤師業務の概要を感じてください。</p> | | | | |
| 成績評価法 | <p>1. レポート点、少人数討論(SGD: small group discussion)の態度、討論結果の発表態度とポスター内容および出席状況と態度を総合的に評価します。</p> <p>2. なお6、14、15回のSGDと早期体験学習は出席することが必須です。</p> | | | | |
| テキスト | 日本薬学会(編)/スタンダード薬学シリーズ1「ヒューマニズム・薬学入門」/東京化学同人 | | | | |
| 参考書 | 村田正弘(編)/早期体験学習ハンドブック/ネオメディカル | | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | <p>1. 1回目の講義には教科書に加えて「薬学部学習マニュアル」を持参してください。</p> <p>2. 早期体験学習の事前授業(2-5回)は集中講義で実施します。期日は薬学部棟1階掲示板で確認してください。</p> <p>3. 少人数討論(SGD:6、14回)と発表会(15回)の期日、班分け、教室は別途掲示します(2コマ連続の演習)</p> <p>4. 早期体験学習期日、班分け、見学先は追って薬学部棟1階に掲示します。(5月中旬から7月中旬の間の3日の主として月曜日午後を予定)。</p> <p>5. コアカリ対応番号と到達目標(SBOs)は「薬学部学習マニュアル」に記載されています。</p> <p>6. 方略の意味 知識:知らなかったことを知ること。態度:やらなかったことをやるようになること。技能:できなかったことができるようになること。</p> <p>7. 補助教員:臨床薬剤学、実践医療薬学、医療薬学、薬剤学、薬物動態学、医薬品開発学講座の教員。早期体験学習の引率は薬学部の全教員が担当。</p> <p>8. 関連する講演会:早期体験学習の準備として挨拶・マナー・身だしなみ講習会があります。期日は別途掲示します。</p> | | | | |
| 講義計画 | | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 授業内容 | 到達目標(SBO) | コアカリ対応番号 | 学習領域 |
| 1 | 講義 | 大阪大谷大学薬学部の理念と教育目標 シラバスとコアカリの説明 大学入門 | 1. 大阪大谷大学の理念と大阪大谷大学薬学部の教育目標を概説できる | 本学独自 | 知識 |
| | | | 2. 6年制薬学教育の狙いを概説できる | 本学独自 | 知識 |
| | | | 3. 大学にける講義の聴き方、ノートのとり方を身につける | 本学独自 | 知識 技能 |
| 2 | 講義 | 早期体験学習の準備(1)心構え | 1. 医療の目的を概説できる(教科書:p.30) | A(1) | 知識 |
| | | | 2. 医療行為に関わる心構えを概説できる(教:p.75) | A(2) | 知識 |
| | | | 3. 医療の担い手が守るべき倫理規範を概説できる | B(2) | 知識 |
| 3 | 講義 | 早期体験学習の準備(2)病院 | 1. 病院の医療、医療チームと薬剤師を概説できる(教:p.274) | A(2) | 知識 |
| | | | 2. 患者の気持ちに配慮する重要性を概説できる(教:p.142) | B(1) | 知識 |

| | | | | | |
|----------------------|---------|------------------------|---|------------|---------|
| 4 | 講義 | 早期体験学習の準備(3)薬局 | 1. 保険薬局の医療と薬剤師の業務を概説できる(教:p.279) | A(2) | 知識 |
| | | | 2. 薬剤師と地域社会の関係を概説できる(教:p.162) | B(2) | 知識 |
| | | | 3. 医薬品の供給と管理を概説できる(教:p.164, 276) | B(1) | 知識 |
| 5 | 講義 | 早期体験学習の準備(4)企業 | 1. 製薬企業における薬剤師の業務を概説できる(教:p.202, 288) | A(2) | 知識 |
| | | | 2. 新薬の開発の流れを概説できる(教:p.220) | B(1) | 知識 |
| 6 | 討論(SGD) | 早期体験学習の準備(少人数討議) | 1. 早期体験学習の見学の要点を概説できる。 | A(2) | 知識態度 |
| | | | 2. 医療と薬剤師の関わりを概説できる(教:p.267) | B(1) | 知識態度 |
| | | | 3. 自己学習の課題を見出すことができる(教:p.108) | A(2) | 知識態度 |
| 7 | 講義 | 生命の尊厳と医療 | 1. 誕生、医療、死に関わる倫理的問題を概説できる(教:p.4) | A(1) | 知識 |
| | | | 2. 先進医療と生命倫理を概説できる(教:p.36) | A(2) | 知識 |
| 8 | 講義 | 社会と薬学 | 1. 薬学・薬剤師に対する社会の期待を概説できる(教:p.50) | A(1) | 知識 |
| | | | 2. 現代社会と薬学の接点を概説できる(教:p.240)(麻薬、大麻、覚醒剤、薬害や医療安全) | B(1) | 知識 |
| 9 | 講義 | 日本薬局方 | 1. 日本薬局方の意義と内容を概説できる(教:p.258) | B(1) | 知識 |
| | | | 2. 日本薬局方のひき方を概説できる(教:p.270) | B(1) | 知識技能 |
| 10 | 講義 | 薬の特性 | 1. 薬の基本的性質と特性を概説できる(教:p.210)とくに生理性、医療倫理性、公共福祉性 | B(1) | 知識 |
| 11 | 講義 | 医療と薬の歴史(1) | 1. 医療の歴史と薬学の役割を概説できる(教:p.176) | B(1) | 知識 |
| | | | 2. 薬剤師の誕生と職能と医薬分業の歴史と意味を概説できる(教:p.183) | B(1) | 知識 |
| 12 | 講義 | 医療と薬の歴史(2) | 1. 薬の発見の歴史と薬学の役割を概説できる(教:p.214) | B(1)、C(7) | 知識 |
| | | | 2. 一般用医薬品と医療用医薬品を概説できる(教:p.238) | B(1) | 知識 |
| 13 | 講義 | 薬学教育の変遷 | 1. (総括)6年制薬学教育の狙いと学び方を概説できる | 本学独自 | 知識 |
| | | | 2. 薬学部における医療人教育の概要を説明できる | A(2) | 知識 |
| 14 | 討論(SGD) | 早期体験学習のまとめ(体験内容の討議) | 1. 早期体験学習で得た知識を少人数に別れて討議しまとめる | B(2) | 知識態度 |
| 15 | 発表討論 | 早期体験学習のまとめ(体験内容の発表と討議) | 1. 少人数で討議しまとめた早期体験学習の知識を発表し質疑応答する | B(2) | 知識態度 |
| 授業方法 | | | | | |
| 一般目標 | 学習方法 | 場所 | 教員数(補助者数) | 教科書以外の教材など | 時間(分) |
| A(1) A(2) B(1) | 講義 | 講義室 | 10 | 配布資料 | 90分×12回 |
| B(2) | 討論 | 講義室ほか | 8(3) | | 180分×3回 |